

第3章 公共施設等の状況（用途別）

公共施設等の状況（用途別）データの見方

■設置目的

産業施設は、農業・水産・畜産・観光・港湾・交通・その他の施設を差し、産業技術の振興、地域の活性化、地域住民の健康増進等に寄与することを目的として設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	人夫収容小室/農業試験所/旧から人工種畜生産センター/羽幌町農村環境改善センター/サンセットプラザはぼろ/サンセットプラザ職員住宅/羽幌フェリーターミナル/観光用倉庫/港湾倉庫/羽幌高校前他/入待合所/ハートワンはぼろ/サンセットビーチセンターハウス/羽幌町勤労青少年ホーム/勤労者研修センター/緑の村農家体験学習室	
	天売	天売展望台/天売井天休養生/天売フェリーターミナル/天売井天便所/天売港公衆便所	
焼尻	旧焼尻野営所前施設/焼尻めん羊育成施設/焼尻フェリーターミナル/焼尻港公衆便所		
施設数	30施設 (45棟)	総延床面積	20,307㎡
年間総コスト (住民1人当りコスト)	29,481千円/年 (3,855円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	6,536,263千円 (854,637円)

注) 人口は2016.3.31現在の人口(町長)
注) 年間総コストは25年度算出(計画)から使用料を差し引いた金額

■配置状況

凡例
● 農業系施設 ● 観光施設
● 水産系施設 ● 港湾施設
● 畜産系施設 ● 交通施設
● その他産業施設

■現状・課題

① 保有状況	<ul style="list-style-type: none"> 産業施設の保有状況は施設数が30施設(建物数45棟)、総延床面積が20,307㎡です。これら施設の経過年数は平均28年です。 配置状況は羽幌町市街地に23施設、天売島に4施設、焼尻島に3施設となっています。
② 利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の年間利用者数は合計199,164人(うちサンセットプラザはぼろが84,458人、羽幌フェリーターミナルが35,000人)であり、稼働率は平均76%となっています。 施設の運営はサンセットプラザはぼろ・焼尻めん羊育成施設が指定管理者、農業試験所・旧から人工種畜生産センター・羽幌町農村環境改善センター・羽幌フェリーターミナル・天売フェリーターミナル・焼尻フェリーターミナルの6施設が委託、その他施設が直営で運営されています。
③ コスト状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約3,550万円です。一方、歳入のうち施設使用料は約600万円となっており、歳出の16.9%程度を賅っています。 今後、施設を維持しつづけるために30年間に必要な投資的経費は約65億円(住民1人当り負担約85万円)であり、平成22年(2017年)から10年間で40棟の建替や大規模改修のために約47億円ほどの投資的経費が必要となります。
④ 建物性能	<ul style="list-style-type: none"> 耐震対策が未了の割合は42%であり、19建物が耐震対策未実施の状況です。 バリアフリー対策は29%程度が未了であり、対策が必要な状況です。

■改善の方向性

- 産業施設は、19建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。
- 平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる建物が8棟ありますが、すでに利用停止している施設や当初と異なる用途で使用されている施設もあります。
- 観光施設や交通施設などは、重要な公共施設であることから、将来にわたり施設を維持しつづける必要があります。運営方式は委託や指定管理等民間活力の導入も積極的に検討してつづける必要があります。
- 低利用または当初の設置目的外で使用されている施設については大規模改修や建替等のタイミングに合わせて施設規模の見直しや統合等を検討してつづける必要があります。

- 設置目的**
施設の設置目的を表します
- 主要データ**
 - I 該当施設
該当する施設名を表します
 - II 施設数
施設数(棟数)を表します
 - III 総延床面積
施設の総延床面積を表します
 - IV 年間総コスト
 - 1) 歳出合計から使用料を差し引いた金額を表します(千円/年)
 - 2) 住民1人当りコスト(円/年・人)
 - 1) を人口で除した金額を表します
 - V 30年間の更新費用
 - 1) 施設の建替費と大規模改修費の合計金額を表します(千円)
 - 2) 住民1人当り負担(円)
 - 1) を人口で除した金額を表します
- 配置状況**
施設の配置状況を表しています
凡例は、中分類により色分けしています
- 現状・課題**
 - ① 保有状況
施設の保有状況を表します
 - ② 利用・運営状況
施設の利用・運営状況を表します
 - ③ コスト状況
施設のコスト状況を表します
 - ④ 建物性能
施設の建物性能を表します
- 改善の方向性**
施設の現状・課題を踏まえた改善の方向性を表します

第1節 コミュニティ施設

■設置目的

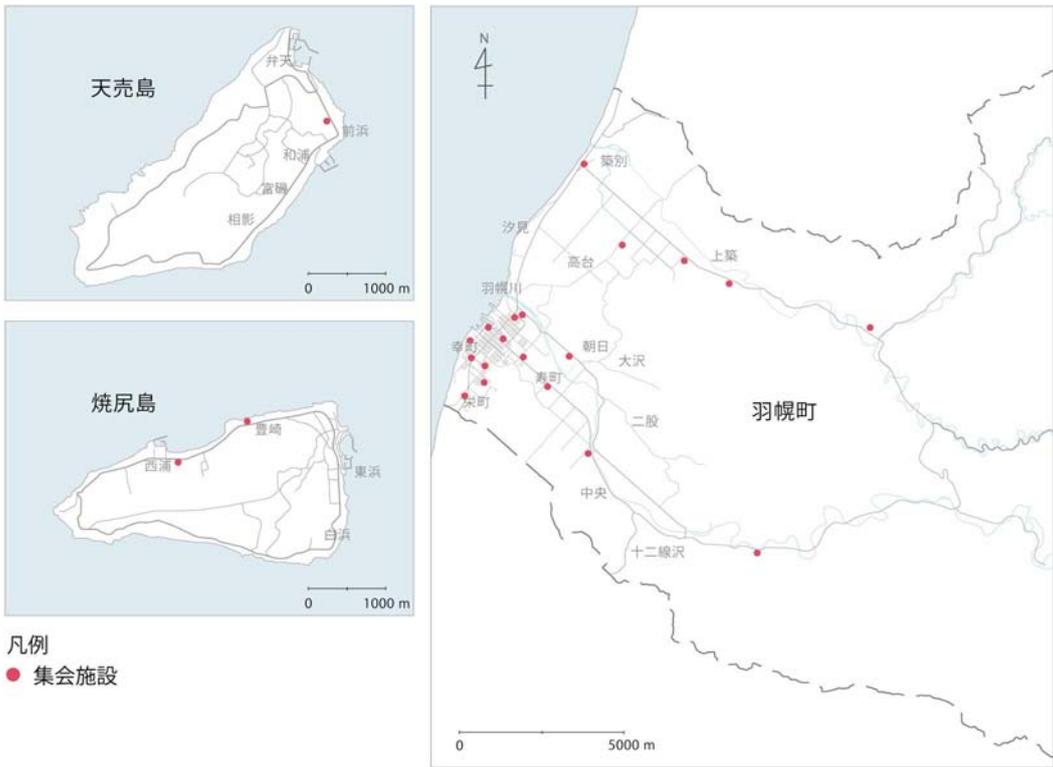
コミュニティ施設は、学びの場や憩いの場、交流の場となる施設であり、福利や厚生、文化の向上など、住民の福祉の増進を図る目的で設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	栄町コミュニティセンター/栄町南集会所/幸町コミュニティセンター/幸町南集会所/高台地区集会所/寿生活改善センター/寿町集会所/曙生活館/上築中央集会所/上築西集会所/川北地区青少年育成センター/築港集会所/築別集会所/中央集会所/朝日集会所/幸陽館/南町集会所/平集会所/北町集会所		
	天売	天売へき地保健福祉館		
	焼尻	西浦コミュニティセンター/焼尻へき地保健福祉館		
施設数	22施設 (25棟)	総延床面積	2,878㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	3,415千円/年 (447円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	1,243,025千円 (162,529円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算
注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施設の保有状況は施設数が22施設(建物数25棟)、総延床面積が2,878㎡です。これら施設の経過年数は平均35年です。 ・配置状況は羽幌市街地に19施設、天売島に1施設、焼尻島に2施設となっています。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の年間利用者数は合計8,510人(平均387人)、年間利用件数は合計725件(平均33件)であり、稼働率は平均9%と総じて低い状況です。 ・主な利用者としては、集会所周辺町内会の町民、または老人クラブに属する町民です。 ・施設の主な利用目的としては、町内会の役員会や行事等での利用と、老人クラブでの利用が多くなっています。 ・施設の運営はすべて直営により運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約342万円で、全額が町の財政からの支出(行政コスト)です。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約12億円(住民1人当り負担約16万円)であり、平成29年(2017年)から10年間ですべての施設の建替や大規模改修のために約9億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未了の割合は68%であり、17棟が耐震対策未実施の状況です。 ・バリアフリー対策はほぼ全施設が未了の状況であり、対策が必要な状況です。 ・避難所指定されている施設は22施設あり、そのうち防災電源を保持している施設はないため長時間停電等の際には避難所としても運営が困難となります。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施設は18建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 ・平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が13棟あります。 ・コミュニティ施設は地域のコミュニティを形成する重要な施設であり、近隣住民の避難所としても設定されていることから、現状を維持してゆくこと望まれます。しかしながら、平均稼働率が9%と低く、施設の老朽化や耐震性の不足も懸念されることから、今後は、市街中心部への機能集約などを加味しながら、設置基準や運営方法の見直しを進めてゆく必要があります。 ・また、避難所のあり方も合わせて検討してゆく必要があります。

第2節 社会教育施設

■設置目的

社会教育施設は、住民の生活の質の向上に資する教育や学術および文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的として設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	羽幌町中央公民館/郷土資料館/郷土資料館展示品収蔵庫		
	天売			
	焼尻	焼尻郷土館		
施設数	4施設 (9棟)	総延床面積	6,558㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	37,821千円/年 (4,945円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	2,647,381千円 (346,153円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算

注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の保有状況は施設数が4施設(建物数9棟)、総延床面積が6,558㎡です。これら施設の経過年数は平均61年です。 ・配置状況は羽幌市街地に3施設、焼尻島に1施設となっています。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の年間利用者数は合計41,851人(平均10,463人)、年間利用件数は合計4,342件(平均1,086件)です。稼働率は中央公民館が18.3%と低い状況です。 ・施設の利用者は羽幌中央公民館は町民、郷土資料館・焼尻郷土館は町民に加えて観光客も利用します。 ・施設の主な利用目的としては、公民館では大ホール・小ホールでのイベント、展示ホールでの芸術作品等の展示、研修室・会議室での各種セミナー等や各実習室での陶芸・調理教室などで、郷土資料館・郷土館では歴史的な資料を展示するスペースとなっています。 ・施設の運営はすべて直営により運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約3,985万円です。一方、歳入のうち、施設使用料は約203万円となっており、歳出の5.1%程度を賅っています。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約26億円(住民1人当たり負担約35万円)であり、平成29年(2017年)から10年間ですべての施設の建替や大規模改修のために約24億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未了の割合は89%であり、8棟が耐震対策未実施の状況です。 ・バリアフリー対策は半数程度が未了の状況であり、対策が必要な状況です。 ・中央公民館が避難所に指定されていますが、防災電源を保持していないため、長時間停電等の際には避難所としての運営が困難となります。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設は、7棟が築30年を経過し、そのうち6棟が耐用年数を超えています。 ・平成29年(2017年)から10年間に建替が必要となる建物が8棟あるため、利用状況を考慮した上で、施設規模の見直しや統廃合を検討してゆく必要があります。 ・中央公民館は、実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行う町の中心的な施設ではありますが、貸室スペースの平均稼働率が13.8%と低く、旧館の老朽化も進行しています。今後は、貸室スペースの見直しや他用途との複合的な利用を図るなど、稼働率向上を図ると共に、近い将来、旧棟の新築移転等を含めた総合的な機能の見直しを行ってゆく必要があります。 ・郷土資料館、焼尻郷土館については、町民や観光客に親しまれる歴史的建造物かつ羽幌町の歴史を後世に伝える重要な施設と位置付け、利用者増を図る取組を実施しながら、継続して維持してゆく必要があります。
--

第3節 体育施設

■設置目的

体育施設は、住民の心身の健全な育成や心身の鍛練、健康の増進、生活文化の向上に寄与することを目的として設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	文化道場/羽幌町営スキー場びゅう/羽幌町武道館/総合体育館「パワデール」/南町運動広場		
	天売			
	焼尻			
施設数	5施設 (7棟)	総延床面積	5,454㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	68,302千円/年 (8,931円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	1,313,598千円 (171,757円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算
注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



第4節 公園施設

■現状・課題

① 保有状況	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の保有状況は施設数が5施設(建物数7棟)、総延床面積が5,454㎡です。これら施設の経過年数は平均24年です。 ・配置状況は羽幌市街地に5施設となっています。
② 利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の年間利用者数は合計138,663人(平均27,733人)、年間利用件数は合計11,258件(平均2,252件)であり、稼働率は平均48%となっています。 ・主な利用者としては町民、及び近隣市町村の住民です。 ・施設の主な利用目的としては、屋内、屋外の各種スポーツでの利用です。 ・施設の運営は総合体育館のみ指定管理者による運営で、その他は直営となっています。
③ コスト状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約7,153万円です。一方、歳入のうち施設利用料は約322万円となっており、歳出の4.5%程度を賄っています。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約13億円(住民1人当り負担約17万円)であり、平成29年(2017年)から10年間で4棟の大規模改修のために約4億円ほどの投資的経費が必要となります。
④ 建物性能	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未了の割合は29%であり、2建物が耐震対策未実施の状況です。 ・バリアフリー対策は半分超の施設が未了であり、対策が必要な状況です。特に点字ブロックの対策が遅れています。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設は、2建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 ・平成29年(2017年)から10年間に大規模改修を必要とする建物が4棟あるため、施設の劣化状況に応じた改修が必要です。 ・文化道場と羽幌町武道館は、老朽化により今後の施設のあり方を検討する必要があります。 ・総合体育館「パワデール」や南町運動広場は、受益者負担の適正化を検討する余地があります。 ・羽幌町営スキー場びゅうも他市町村の利用者に対する利用料適正化等により、更なる一般財源負担割合の低減を検討する必要があります。

■設置目的

公園施設は、住民の心身の健全な育成や健康の増進、生活文化の向上に寄与することを目的として設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	オロン海道さわやかレストルーム/レストパーク/羽幌スポーツ公園/朝日公園/便所(シーサイドラバトリー)		
	天売			
	焼尻			
施設数	5施設 (8棟)	総延床面積	520㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	12,771千円/年 (1,670円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	145,310千円 (19,000円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算
注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の保有状況は施設数が5施設(建物数8棟)、総延床面積が520㎡です。これら施設の経過年数は平均33年です。 配置状況は羽幌市街地に5施設となっています。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者数が把握できている施設は羽幌スポーツ公園のみで、54,901人です。 施設の主な利用目的としては、羽幌スポーツ公園は野球・サッカー・陸上競技・パークゴルフ等を行うことであり、他は公園やビーチの利用者のためのトイレです。 施設の運営は羽幌スポーツ公園と朝日公園が直営により運営され、その他は委託しています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約1,316万円です。一方、歳入のうち施設使用料は約39万円となっており、歳出の3.0%程度を賄っています。 今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約1億5,000万円(住民1人当り負担約2万円)であり、平成29年(2017年)から10年間ですべての施設の建替や大規模改修のために約1億1,000万円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耐震対策が未了の割合は50%であり、4棟が耐震対策未実施の状況です。 バリアフリー対策はほぼ半数が未了であり、対策が必要な状況です。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 公園施設は、4建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が1建物あり、他7建物は大規模改修が必要となります。利用状況や劣化具合を考慮した上で、建替や改修をする必要があります。 公園施設は、住民の健康増進や魅力ある街づくりのためにも必要不可欠な施設であるため、今後も継続して維持してゆくことが求められます。 ただ将来的には住民ニーズや利用状況を考慮した上で、南町運動広場と羽幌スポーツ公園との一体運営も検討してゆく必要があります。 使用時期の限られたトイレ施設については、仮設で対応するなどして、廃止も検討する必要があります。
--

第5節 学校施設

■設置目的

学校施設は、学校教育法による小学校、中学校、高等学校、特別支援学校と教職員用住宅、給食センターを指します。各種学校は児童・生徒の教育に寄与し、教職員用住宅は教員の生活の安定と福祉の増進に寄与する目的として設置された施設です。また、給食センターは児童・生徒及び教職員等に対して食事を調理・配給する目的として設置された施設です。

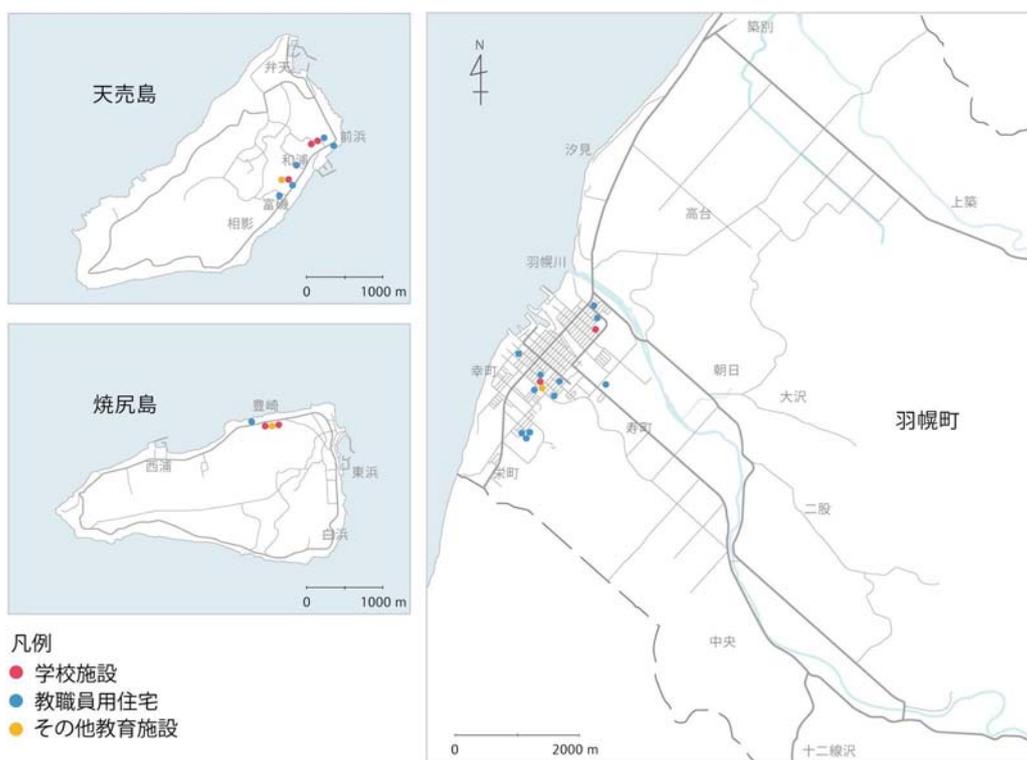
■主要データ

該 当 施 設	市街	羽幌小学校/羽幌中学校/羽幌小学校校長住宅/羽幌小教員住宅/栄町教員住宅/公立学校共済組合教職員住宅/港町教員住宅/寿町教職員住宅/南町20番地教職員住宅/南町64番地教員住宅/北4条教職員住宅/栄町共済融資住宅(教員)/北町共済融資住宅(教員)/羽幌町市街地区給食センター		
	天売	天売共同作業所/天売高等学校/天売小中学校/公立学校共済組合住宅(1棟2戸)/天売公立学校共済組合住宅(1棟1戸)/天売前浜教員住宅/天売富磯教職員住宅/天売和浦教員住宅/天売地区学校給食センター		
	焼尻	焼尻小学校/焼尻中学校/焼尻教員住宅/焼尻地区学校給食センター		
施 設 数	27施設 (94棟)	総 延 床 面 積	25,130㎡	
年 間 総 コ ス ト (住民1人当りコスト)	76,773千円/年 (10,038円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	5,854,100千円 (765,442円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算

注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の保有状況は施設数が27施設(建物数94棟)、総延床面積が25,130㎡です。これら施設の経過年数は平均33年です。 ・配置状況は羽幌市街地に14施設、天売島に9施設、焼尻島に4施設となっています。なお、このうち小・中学校、高校は計6校、教職員住宅は69戸、給食センターが3施設等となっています。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校、高校の児童・学生数は合計495人、クラス数は合計33クラスであり、稼働率は平均47%となっています。また教職員住宅の稼働率(入居率)は平均85%となっています。 ・施設の運営はすべて直営により運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約8,455万円です。一方、歳入のうち、施設使用料は約777万円で、歳出の9.1%程度を賄っています。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約59億円(住民1人当り負担約74万円)であり、平成29年(2017年)から10年間で31棟の建替や大規模改修のために約17億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未了の割合は50%であり、47建物が耐震対策未実施の状況です。 ・バリアフリー対策は教職員住宅以外では4割弱が未了であり、対策が必要な状況です。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校、高校・給食センターは、20建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が6建物あるため、利用状況や防災性能を考慮した上で、施設の規模や建物性能を検討してゆく必要があります。 ・教職員住宅については39建物が築30年を経過しています。平成29年(2017年)から10年間に38建物が耐用年数を迎え、建替が必要となります。 ・学校施設は、児童・生徒の教育に寄与するだけでなく、地域コミュニティの中核施設としての機能も有しているため、今後も継続して維持してゆくことが求められますが、将来的な人口減少等も考慮すると、単独施設ではなく、コミュニティ施設や福祉施設等との複合化を視野に入れていく必要があります。 ・また、教職員住宅のあり方も合わせて検討してゆく必要があります。
--

第6節 福祉施設

■設置目的

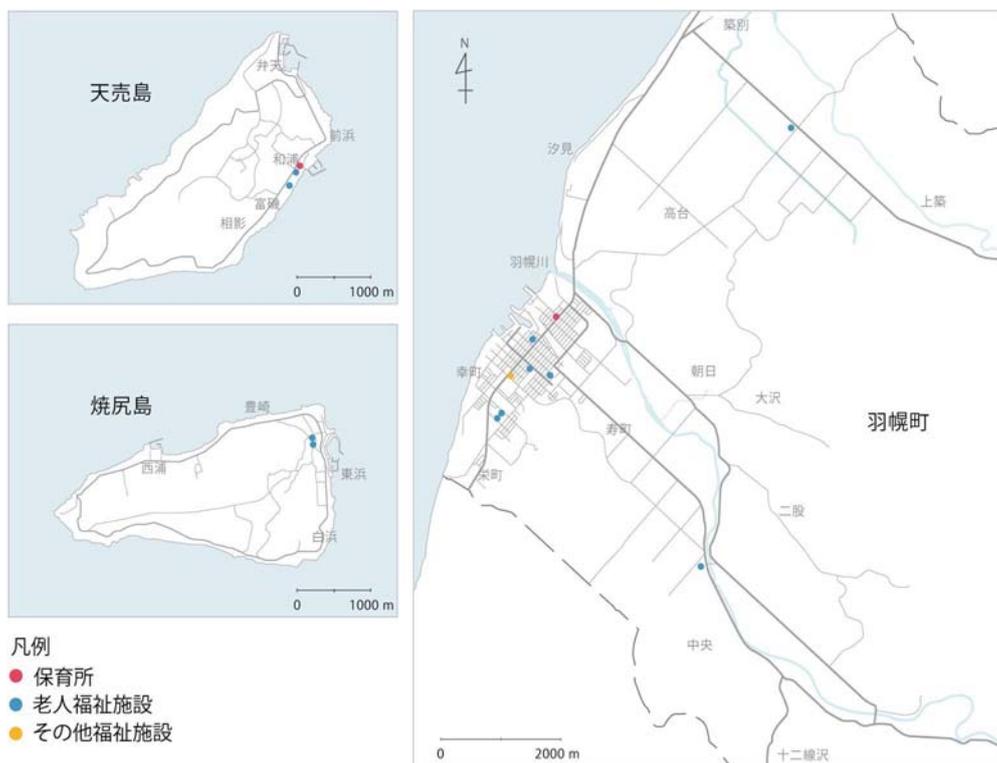
福祉施設は、保育所、老人福祉施設、その他福祉施設を差します。保育所は幼児の預かり保育、老人福祉施設は、高齢者及び要支援・介護認定者等に対して相談・デイサービス事業等を実施する施設として、その他福祉施設は心身に障害又は発達支援の必要が認められる幼児、学齢児を指導する施設として、利用者の福祉の向上に寄与することを目的として設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	羽幌保育所/羽幌町デイサービスセンター/羽幌町老人憩の家/羽幌町老人福祉センター/築別老人寿の家/中央寿老人の家/特別養護老人ホームしあわせ荘/羽幌町すこやか健康センター/子ども発達支援センター		
	天売	天売ちびっランド/天売高齢者支援センター/天売老人の家		
	焼尻	焼尻高齢者支援センター/焼尻老人の家		
施設数	14施設 (18棟)	総延床面積	9,156㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	60,191千円/年 (7,870円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	2,096,326千円 (274,101円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算
注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の保有状況は施設数が14施設（建物数18棟）、総延床面積が9,156㎡です。これら施設の経過年数は平均26年です。 ・配置状況は羽幌市街地に9施設、天売島に3施設、焼尻島に2施設となっています。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・老人ホームの入所者数は合計42,524人（うち特別養護老人ホームしあわせ荘が42,494人）、稼働率は平均56%（しあわせ荘は96%）となっています。 ・保育所・老人ホーム以外の施設の年間利用者数は合計34,551人、年間利用件数は合計11,433件であり、稼働率は平均53%となっており、デイサービスセンター・高齢者支援センターではほぼ100%と高くなっています。 ・施設の運営は特別養護老人ホームしあわせ荘が指定管理者、天売ちびっこランド・羽幌町デイサービスセンター、天売と焼尻の高齢者支援センターが委託、その他は直営により運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度（2013年度）の施設に関わる歳出計は約8,156万円です。一方、歳入のうち施設使用料は約2,137万円で、歳出の26.2%程度を賄っています。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約21億円（住民1人当り負担約27万円）であり、平成29年（2017年）から10年間で14棟の建替や大規模改修のために約8億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未了の割合は50%であり、9建物が耐震対策未実施の状況です。 ・バリアフリー対策は多目的トイレ・自動扉・点字ブロックが未了の施設が多くなっています。 ・避難所指定されている施設は4施設あり、そのうち防災電源を保持している施設はないため長時間停電等の際には避難所としても運営が困難となります。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設は、9建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 ・平成29年（2017年）から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が5建物あります。 ・福祉施設は、幼児や高齢者、障害や発達支援が必要な幼児、学齡児等への福祉サービスを提供する上で必要不可欠な施設であり、将来的な人口減少等も考慮した上で、必要な施設量を維持してゆくことが求められます。 ・施設の計画に当たって、将来的なニーズ変化に対応できるよう他施設との複合化を図ったり民間活力を積極的に導入する等も検討してゆく必要があります。
--

第7節 産業施設

■設置目的

産業施設は、農業・水産・畜産・観光・港湾・交通・その他の施設を差し、産業技術の振興、地域の活性化、地域住民の健康増進等に寄与することを目的として設置された施設です。

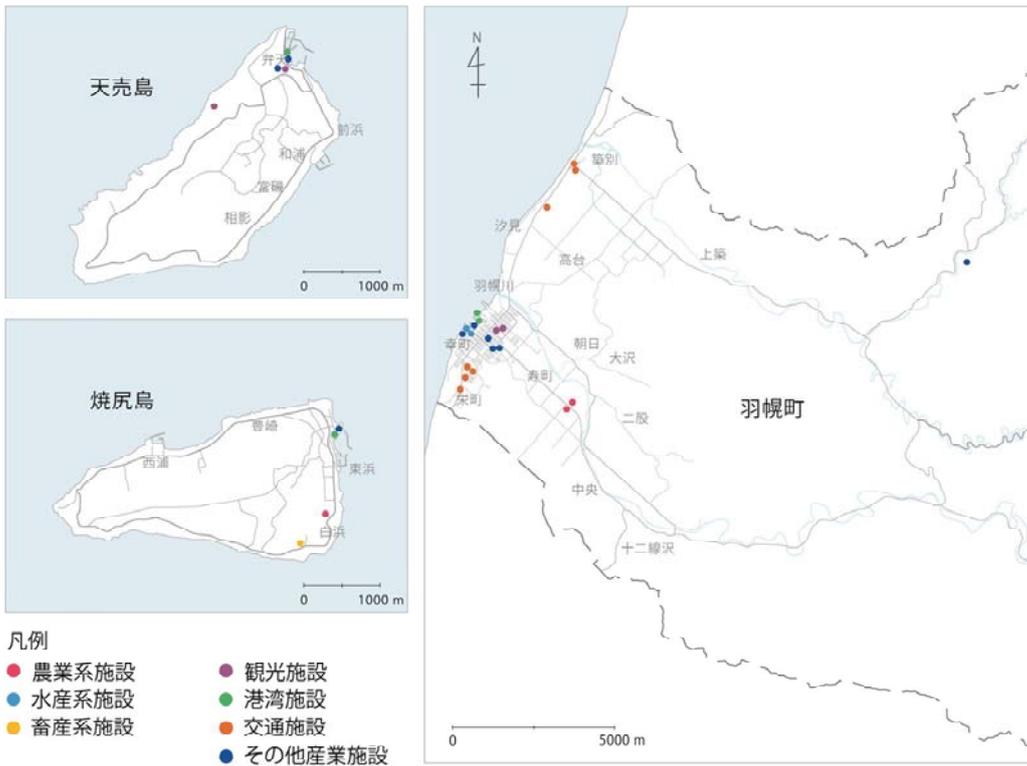
■主要データ

該当施設	市街	人夫収容小屋/農業試験所/旧うに人工種苗生産センター/羽幌町漁村環境改善センター/サンセットプラザはぼろ/サンセットプラザ職員住宅/羽幌フェリーターミナル/観光用倉庫/港湾倉庫/羽幌高校前他バス待合所/ハートタウンはぼろ/サンセットビーチセンターハウス/羽幌町勤労青少年ホーム/勤労者研修センター/緑の村農業体験実習室		
	天売	天売展望台/天売弁天休憩舎/天売フェリーターミナル/天売弁天便所/天売港公衆便所		
	焼尻	旧焼尻野菜育苗施設/焼尻めん羊育成施設/焼尻フェリーターミナル/焼尻港公衆便所		
施設数	30施設 (45棟)	総延床面積	20,307㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	29,481千円/年 (3,855円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	6,536,263千円 (854,637円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算

注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業施設の保有状況は施設数が30施設(建物数45棟)、総延床面積が20,307㎡です。これら施設の経過年数は平均28年です。 配置状況は羽幌市街地に23施設、天売島に4施設、焼尻島に3施設となっています。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の年間利用者数は合計199,164人(うちサンセットプラザはぼろが84,458人、羽幌フェリーターミナルが35,000人)であり、稼働率は平均76%となっています。 施設の運営はサンセットプラザはぼろ・焼尻めん羊育成施設が指定管理者、農業試験所・旧うに人工種苗生産センター・羽幌町漁村環境改善センター・羽幌フェリーターミナル・天売フェリーターミナル・焼尻フェリーターミナルの6施設が委託、その他施設が直営で運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約3,550万円です。一方、歳入のうち施設使用料は約600万円となっており、歳出の16.9%程度を賄っています。 今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約65億円(住民1人当り負担約85万円)であり、平成29年(2017年)から10年間で40棟の建替や大規模改修のために約47億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耐震対策が未了の割合は42%であり、19建物が耐震対策未実施の状況です。 バリアフリー対策は29%程度が未了であり、対策が必要な状況です。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 産業施設は、19建物が築30年を超過し、老朽化が進行しています。 平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる建物が8棟ありますが、すでに利用停止している施設や当初と異なる用途で使用されている施設もあります。 観光施設や交通施設などは、重要な公共施設であることから、将来にわたり施設を維持してゆく必要があります。運営方式は委託や指定管理等民間活力の導入も積極的に検討してゆく必要があります。 低利用または当初の設置目的外で使用されている施設については大規模改修や建替等のタイミングに合わせて施設規模の見直しや統廃合等を検討してゆく必要があります。
--

第8節 行政施設

■設置目的

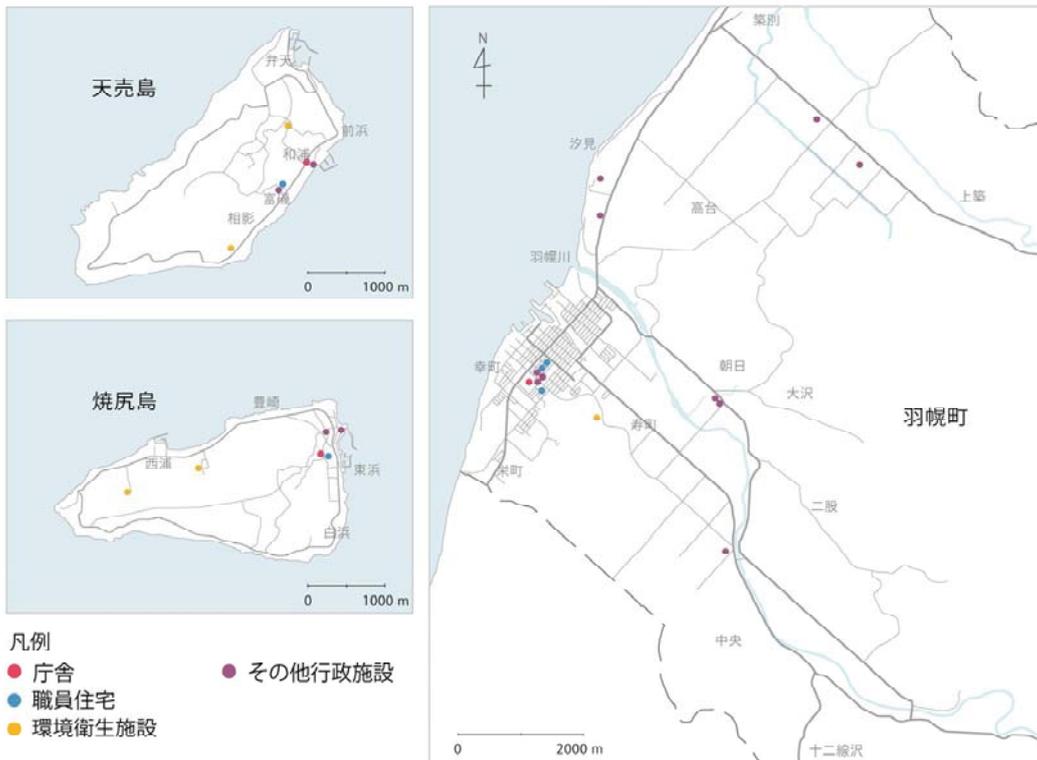
行政施設は、庁舎、職員住宅、環境衛生施設、その他行政施設を差します。庁舎は住民へ様々な支援やサービスを提供する窓口機能、執務機能、その他議会機能をもつ目的として、職員住宅は職員の生活の安定を図る目的として設置された施設です。また、環境衛生施設、その他行政施設は一般廃棄物の焼却処理や火葬などを行う目的として設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	羽幌町庁舎/南3条町職員住宅/南町23番地職員住宅/南3条共済組合職員住宅/羽幌町霊園/羽幌町車輛総合車庫/旧汐見集会所/旧築別中学校校舎(郷土資料館)/旧朝日小学校/旧幌北小学校校舎/郷土資料館収蔵庫/建設課詰所/建設資材倉庫(旧教員住宅)/公有集宅/町民課作業所		
	天売	天売支所/天売富磯職員住宅(旧)/天売火葬場/天売廃棄物処理施設/天売総合研修センター/天売富磯教員住宅(旧)		
	焼尻	焼尻役場支所/東浜職員住宅/焼尻火葬場/焼尻生ごみ処理施設/焼尻共同作業所/焼尻総合研修センター		
施設数	27施設 (51棟)	総延床面積	14,839㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	20,392千円/年 (2,666円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	4,655,096千円 (608,668円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算
注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■ 現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政施設の保有状況は施設数が27施設(建物数51棟)、総延床面積が14,839㎡です。これら施設の経過年数は平均35年です。 配置状況は羽幌市街地に15施設、天売島に6施設、焼尻島に6施設となっております。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政施設のうち利用施設である天売総合研修センター、焼尻総合研修センターの年間利用者数はそれぞれ2,684人、2,164人であり、稼働率はそれぞれ8.1%、4.5%と低い状況です。この2施設の主な利用目的としては、各種団体等の会合、公共事業等に係る説明会、各種健診の実施会場などでの役員会や行事等での利用などです。 業務施設の稼働率は平均76%、職員住宅の稼働率は100%となっています。 旧学校の多くは倉庫などに利用されています。 天売廃棄物処理施設・焼尻生ごみ処理施設の運営は委託で、その他の施設は直営により運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約2,455万円で、歳入のうち施設使用料は約417万円となっており、歳出の17.0%程度を賄っています。 今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約47億円(住民1人当り負担約61万円)であり、平成29年(2017年)から10年間で47棟の建替や大規模改修のために約41億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耐震対策が未了の割合は75%であり、38建物が耐震対策未実施の状況です。 バリアフリー対策は不要な施設が多いため、未了の割合は少なくなっています。 避難所指定されている施設は羽幌町庁舎・天売総合研修センター・焼尻総合研修センターで、このうち天売総合研修センターは防災電源を保持していません。

■ 改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 行政施設は、35建物が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が24建物あります。 行政施設は、住民サービスや執務、議会等の機能を維持する上で必要不可欠な施設であり、今後も継続して維持してゆくことが求められます。 特に老朽化が進んでいる羽幌町庁舎のあり方を検討してゆく必要があります。庁舎のあり方を検討する上では、より身近な行政サービスの提供やコンパクトな街並み形成への寄与、施設の複合化や公的不動産の有効活用等による行政コストの最小化等も含めて検討してゆく必要があります。 また、職員住宅のあり方も合わせて検討してゆく必要があります。
--

第9節 公営住宅

■設置目的

公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、住民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として設置された施設です。

■主要データ

該 当 施 設	市街	栄町南団地/栄町夕陽ヶ丘団地/幸町団地/汐見団地/若葉団地/寿町団地/神楽丘団地/川北A団地/築別団地/中央団地/朝日団地/北3条2丁目団地/北4条団地/北町団地/緑ヶ丘団地		
	天売	天売団地(富磯)/天売団地(弁天)		
	焼尻	焼尻団地(東浜2)/焼尻団地(豊崎1)/焼尻団地(豊崎2)		
施 設 数	20施設 (151棟)	総 延 床 面 積	32,283㎡	
年 間 総 コ ス ト (住民1人当りコスト)	0千円/年 (0円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	7,567,187千円 (989,433円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算

注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

<p>① 保有状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の保有状況は施設数が20施設(建物数151棟)、総延床面積が32,283㎡です。これら施設の経過年数は平均22年です。 ・配置状況は羽幌市街地に15施設(143棟)、天売島に2施設(5棟)、焼尻島に3施設(3棟)となっております。
<p>② 利用・運営状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の総戸数は561戸で、政策空家数を除いた稼働率は平均93%となっています。 ・施設の運営はすべて直営により運営されています。
<p>③ コスト状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度(2013年度)の施設に関わる歳出計は約1,637万円です。一方、歳入のうち、施設使用料(家賃収入)は約7,553万円で、歳出額の約4.6倍となっています。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約76億円(住民1人当り負担約99万円)であり、平成29年(2017年)から10年間で121棟の建替や大規模改修のために約37億円ほどの投資的経費が必要となります。
<p>④ 建物性能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策はすべての施設で実施されています。 ・バリアフリー対策は車椅子対応エレベータを除けば、ほぼ全施設が未了の状況であり、対策が必要な状況です。 ・避難所に指定されている施設はありません。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅は、51棟が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 ・平成29年(2017年)から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が4棟あり、大規模改修が必要な施設が117建物あります。 ・公営住宅は、住民ニーズも高く、施設稼働率(入居率)も高いことから長期的な人口、世帯数の推移を踏まえた上で、計画的に供給を継続してゆくことが求められます。 ・サービスの維持・継続に当たっては、町単独住宅の拡充や従来の公設公営のみでなく、民間活力の導入も含めて検討を進める必要があります。

第10節 上下水道施設

■設置目的

上下水道施設は、上水道施設と下水道施設に分けられます。上水道施設は水を飲用に適する水として地域に供給する目的で設置された施設で、下水道施設は雨水および汚水を公共用水域へ排水する目的で設置された施設です。

■主要データ

該当施設	市街	羽幌浄化センター/公共下水道羽幌ポンプ場/市街浄水場/中央ポンプ上屋/配水層上屋/北町ポンプ槽		
	天売	天売簡易水道ポンプ/天売簡易水道浄水場/天売簡易水道弁天ポンプ井上屋		
	焼尻	焼尻簡易水道タカノ巣ポンプ上屋/焼尻簡易水道東浜/焼尻白浜浄水場		
施設数	12施設 (15棟)	総延床面積	3,208㎡	
年間総コスト (住民1人当りコスト)	82,169千円/年 (10,744円/年・人)	30年間の更新費用 (住民1人当り負担)	733,601千円 (95,921円)	

注) 人口はH26.3末時点の人口で計算

注) 年間総コストはH25年度歳出合計から使用料を差し引いた金額

■配置状況



■現状・課題

① 保有状況	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道施設の保有状況は施設数が12施設（建物数15棟）、総延床面積が3,208㎡です。これら施設の経過年数は平均26年です。 ・配置状況は羽幌市街地に6施設、天売島に3施設、焼尻島に3施設となっております。
② 利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営は委託が6施設、直営が6施設となっております。
③ コスト状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街の上水道事業は企業会計を採用し、独立採算制となっております。 ・平成25年度（2013年度）の施設に関わる歳出計は約8,200万円です。 ・今後、施設を維持してゆくために30年間に必要な投資的経費は約7億円（住民1人当り負担約10万円）であり、平成29年（2017年）から10年間で12棟の建替や大規模改修のために約3億円ほどの投資的経費が必要となります。
④ 建物性能	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未了の割合は33%であり、5建物が耐震対策未実施の状況です。 ・バリアフリー対策は未了の施設はありません。 ・避難所指定されている施設はありません。 ・防災電源を保持している施設は羽幌浄化センターと白浜浄水場の2施設です。

■改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道施設は、5棟が築30年を経過し、老朽化が進行しています。 ・平成29年（2017年）から10年間に耐用年数を迎え建替が必要となる施設が1棟あり、大規模改修が必要な施設が11棟あります。劣化具合を考慮した上で、建替や改修を行う必要があります。 ・上下水道施設は住民の生活を支える重要なインフラ施設であるため将来にわたり施設を維持してゆく必要があります。 ・羽幌市街の上水道施設は、企業会計により運営しているため施設に関わるコストは原則、上水道の利用料金により賅っていますが、施設の大規模改修や建替等により多額の投資的費用が発生した場合、一般財源を充当する可能性も想定されることから、計画的に整備をしてゆくことが必要となります。 ・下水道を使用できる世帯に対して、実際に利用している世帯の割合は約6割弱と低くなっており、今後、下水道を使用する世帯を増やしてゆく必要があります。
